



“ひとつになれる”を目指して～第42回体育祭～



5/27(土)晴天の中、第42回体育祭が開催されました。多くの保護者の皆様から温かい声援や拍手をいただいたおかげで、子どもたちも全力で取り組んでいたのではないかと思います。本当にありがとうございました。私は結団式で次のような話をしました。

「体育祭では皆さんに“ひとつになれる”(共生・協働)力を育てたいと思っています。しかし、運動が得意でとても楽しみにしている人もいれば、そうではない人もいます。その温度差をどのように縮めるかがポイントです。そのためにはお互いの気持ちを率直に話し合うことが何より大切ではないかと思います。いわゆる“対話”です。対話をとおして互いに理解し合い、認め合うことから協力が生まれ、ひとつになれるのではないかと思います。そして、体育祭が終わったときに結果はともかく仲間との絆が深まり、『勝ちよりも価値ある仲間が大切!』と実感できたら、思い出に残る体育祭になるのではないのでしょうか。」

私の期待どおり、当日は「動」と「静」のメリハリのある素晴らしい体育祭でした。すなわち、楽しむところは思いっきり楽しむ。逆に集団を意識して整列したり、人の話を聴く場面ではしっかりと聴く。しかし、そうした姿勢は一朝一夕にできたものではありません。毎日の体育の授業をはじめとして、日常の学校生活の延長線上から生まれたものだと思います。加えて、今年度は準備期間のブロック練習後に3年生を中心に次の練習や本番に向けて「振り返り」をしている姿がとても印象的でした。課題を明確にして改善策を考える姿勢は正に“主体的に学習に取り組む態度”と言えます。是非、体育祭で学んだことを今後の学校生活でも活かしてくれることを期待しています。ブロック長(副ブロック長)の皆さんが書いてくれた「体育祭を終えて」の一部を次のとおり紹介いたします。

- 31組 橙ブロック「ブロック長として人前で話すことが多くで大変だったけど、自分が指示すると、みんなが聞いてくれました。マスクも団長・副団長がはずしたら、はずしてくれてうれしかった。」
- 32組 桃ブロック「私は練習から本番を通して応援することの大切さ、団結することの大切さなど、たくさんのことを学ぶことができたので、これからの行事に活かせるよう、頑張りたいと思います。」
- 33組 赤ブロック「自分は〇〇長と付く役割を中学校生活の中でやったことがなかったので、最初はとても緊張しましたが、やってみると意外に楽しくて、この体育祭をやり遂げようと思いました。」
- 34組 黄ブロック「体育祭を通してみると、どのブロックも最後まで全力で楽しんでいて、滝中全体が最後は笑顔で終わっていて、最高の体育祭になったなあと思いました。」
- 35組 緑ブロック「団長6人で全校を引っ張ることがどれだけ難しいことかもわかったし、団長6人が力を合わせたからクラス・ブロック・全校が協力して、“ひとつになれる”が実感できたと思った。」
- 36組 青ブロック「自分がミスしても『大丈夫だよ』と優しく声をかけてくれたり、自分が言った言葉に拍手をしてくれる人たちが滝中にはたくさんいます。本当に“価値ある仲間”でした。」

今回は4年ぶりに人数制限なく、保護者の皆様にご参観いただくということで、心配な点もありましたが、けやきの会本部役員やクラス委員の皆様が事前に十分な準備と、当日も朝早くから献身的にご協力いただいたおかげで、大きなトラブルもなく、無事終えることができました。改めて心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。



今年度からコミュニティ・スクールとなりました！

昨年度末にもお知らせしたとおり、今年度から本校も学校運営協議会制度を取り入れた「コミュニティ・スクール」となりました。5/9（火）には第1回学校運営協議会が開催されました。会議では各学年主任や8組の先生から丁寧かつ熱く学年指導方針や学年の様子を伝えてくれました。そのおかげで委員の皆様から「学校の様子がよくわかりました。」「先生方の前向きな姿勢がとてもよく伝わってきました。」といったコメントをいただきました。私の方からは学校運営協議会で協議したいテーマとして、「①家庭への支援 ②不登校生徒の対応について ③教員の働き方改革のために」の3つの内容について説明させていただきました。次回の学校運営協議会で具体的に検討できたらと思います。今年度委員になっていただいた方を次のとおりご紹介いたします。

氏名	所属	氏名	所属
矢内 健	湘南大庭市民センター長	葉山 太一	本校元学校評議員
國丸 明子	六会地区民生委員・児童委員	田中 和恵	本校けやきの会前代表
水村 なつみ	青少年育成協力会指導員	天利 智子	大庭地区社会福祉協議会理事
松澤 直子	藤沢西高等学校長	日置 朱実	滝の沢小学校長
人見 甲子郎	森の仔じゆうがっこう事務局長	一瀬 今日子	石川小学校長
持川 和道	コミュニティソーシャルワーカー (CSW)	笹原 信吾	滝の沢中学校長
富樫 里美	介護施設職員	武田 三枝	滝の沢中学校教頭

今後も「子どもを主語に」家庭や地域から“信頼される学校”を目指して、保護者や地域の方々のお力添えをいただきながら、学校運営に取り組んでいけたらと思います。なお、学校運営協議会の予定や協議内容については、今後、学校ホームページでも掲載していくことを申し添えます。

4年ぶりに全校生徒が集まり対面での生徒総会

5/17（水）全校生徒が体育館に集まり、4年ぶりで対面での生徒総会が開催されました。本部役員はもちろん、各委員長さんたちもリモートでは味わえない緊張感だったと思いますが、とても良い経験をしているのではないかと感じました。内容としては、生徒会長の挨拶の後に議事が行われ、第1号議案として「生徒会本部の基本方針や活動内容」、第2号議案として「各種委員会活動目標・活動計画」が提案され、承認されました。そして、新たに第3号議案として、「トイレについて」が提案されました。普段の学校生活において以前から休み時間にトイレの中でおしゃべりをする人が多いので、中に入りにくいという課題がありました。そのことを生徒会本部が積極的に取り上げて全校評議委員会に投げかけ、各クラスで解決策を検討してもらいました。そうした意見を集約して、今回、生徒会本部が次のような提案をしてくれました。

- トイレで鏡を見るためにたまることが多いので、更衣室にも鏡を設置する。
- 周りの人にはあまり聞かれない話をするためにたまるので、昼休みに被服室を談話室として開放する。

自分たちの学校生活における課題を自分たちで解決しようとする前向きな姿勢は大変すばらしく、正に自治的な活動といえます。今年度の生徒会のスローガンは『Best Smile ～たくさんの笑顔であふれる滝中に～』ですが、こうした活動を続けていくことが、『Best Smile』につながるのではないかと思います。今後も期待しています。



授業力向上を目指して研究授業を実施します！

本校では2021年度より県の『かながわ学びづくり推進地域研究委託事業』を受託し、授業改善に取り組んでいます。年間3回の研究授業および研究協議と夏季研修会を実施する予定です。併せて、義務教育9年間で意識した教育活動を展開できるように小中の連携を深め、近隣の小学校の先生方にも参加していただく予定です。

6/14(水)6校時には次のように各学年1クラスずつを対象として第1回研究授業を実施いたします。他のクラスについては、5校時で下校となりますので、自宅学習するようにお声かけいただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

1年2組 国語 渡嘉敷沙里先生	2年6組 国語 清野光紗先生	3年5組 音楽 伊藤いづみ先生
-----------------	----------------	-----------------